

令和6年度沼田まつり検討委員会（第1回）概要

□日 時：令和6年4月18日（木）午後5時52分～午後7時14分

□場 所：テラス沼田4階 防災会議室401

□出席者：星野市長（名誉会長）、井熊会頭（会長）、青地区長会長（副会長）、
須田副会頭（副会長）、今井副会頭（商業部会長）（副会長、委員長）、
塩浦副会頭（副会長）、山宮経済建設常任委員長（副会長）、
山口経済部長（副委員長）、小菅専務理事（副委員長）、
鈴木商店街連合会長（副委員長）
（欠席：山田観光協会長（副会長））

□報告事項

（1）要望書等の提出について

○沼田まつり実行委員会あてに各町区長（7か町）から要望書が提出されたことを報告。

□協議事項

〔決定事項〕

○5月の実行委員会後に検討委員会意見交換会として、まつり関係団体で人数を絞ったうえで招き、検討委員会を実施することとした。

〔主な意見〕

- 沼田まつりを存続するにあたって須賀神社と町の意見のどちらを選ぶかということを検討するしかないかなと思う。
- 沼田まつりの日にちを3日、4日、5日にしているが、今は沼田市の市民全員に神事を押し付けていることと同じ結果になっていると思う。あんまり神事だからと言っているとした結果になるので、そこも考えないといけないと感じる。
- 人口減少によって参加が難しいという町の意見もあるが、各町の工夫としてお祭りをやってくために他市等から人に来てもらっているところもある。人に来てもらうためにやはり土日につけ、他市等の方に応援してもらう方向に持っていかないとお祭りも成功していかないんじゃないかなと思う。
- 沼田まつりを分断開催は最悪の結果だと思っている。須賀神社側の意見もちゃんと伺いながら妥協点はないかというところまで話が来ているところでもあるため、今後どのように協議をしていくかを話すべきである。
- 今後の検討前提である、「市民総合参加型のまつりであり続けること」はいいと思うが「概ね実施形態を変えずに実施すること」というのが、無理があるのではないのかと思っている。週末を絡めて開催すれば数年は維持できると思うが、人口が減っていく中で開催することを考えると週末でも無理になってくると思う。今までの実施形態を少し変えていかないとまずいと思う。
- 昨年5日土曜日の神社みこし共演で、今まで棒の取り合いだった神社みこしの棒に空きがある状況であったことがショックだった。このことを考えると土日だと人は出るが参加者や担ぎ手がいるかといったらそうとは限らないと思う。
- 榛名神社側の町だけが要望書を提出していることになっている。現状だと須賀神社側の町からは要望書は出ていないため、このまま多数決で決めてしまうと大変なことになってしまうと思う。
- 須賀神社側の意見に対し反対しているところが要望書を出してきているため、開催日を

変えるという状況を私たちが作っていくべきでなく、須賀神社側の人の意見も含めた総意として、開催日を変えるという方向にしたい。

○コロナ渦で沼田まつりが何年か中止となり、人の意識がお祭りから離れていったと感じる。町中の人たちはお祭り意識が多少残ってはいるが、要望書を見る限り7か町はかなり気持ちが祭りから離れているというのがよく分かる。

○過去に須賀神社側の6か町が須賀神社を中心に動き、それ以上開催日について決められなくなった時もあった。そのため、ある程度賛成の考え方を持っている町がいないと開催日の変更は無理だと思っている。

○この時代にきて人手もいないし担い手もない、高齢化社会になり、じゃあ誰がまんどを引くんだ。誰が神輿を担ぐんだとなっている。今は昔ほどの活動力がなくなっている。この辺も考えなくてはならない。

○須賀神社と須賀神社側の6か町の区長さんの本当の意見を聞くために、腹を割って話すべきだと思う。

○伝統は1回破ると無くなるのかなと思うことはあるが、ある程度伝統を守っていくにはやはり、開催日を変えなければならないのだと思うときもある。三社祭りもそうだったが、変えるところは変えなくちゃいけないのかと思ったりもする。

○2年前から同じ議論をしているが、話が進まない。圧倒的に人がいなくなっているのも事実。

○このままの状態で沼田まつりを維持するのは確かに難しい。曜日を土日に変えたとしても人がいないので結局は厳しいと思う。その辺りの課題について、沼田まつりの将来的な見直しを行い、変えるところを変えていかないと存続ができないという危機感は須賀神社側も持っていると思う。

○将来的には榛名神社と須賀神社が隔年で担ぐようになってくると思う。そうやらないと神輿を担げなくなる時代が来るんじゃないかなと思っている。そんな時代がきてもらったら困るのだが、、

○人手不足の問題は土日開催にしてもでてくる問題だと思う。日程だとか、数だとか、やり方そのものを変更しない限りは出てくる。

○交通規制区域の縮小も課題の一つだと思う。

○要望書の要望どおりやるとすれば、完全に平日開催となる令和8年には開催日の変更をしなければならない。そうすると、開催日の変更をする1年前には開催日の決定をしていかないと変更の有無に関わらず難しいと思う。そのくらいの勢いでやらないといけない。

○沼田まつりを続ける、持続していくためには課題が多いことを各団体にも話すべきだと思う。まずは課題を共有する会議を開くべきである。日にちの話をするのはそれからだと思う。

○要望書の内容どおりだとすると、この状況まま実施していくと7か町が沼田まつりに対し不参加を表明する可能性がある。そうなったら沼田まつり自体できなくなると思う。ここまで話が来たかと捉えている。

○各団体の下の人たちはどう思っているのか、そこの意見も必要だと思う。

○実行委員会や部会のように区長、祇園囃子保存会、みこし関係の各部会の人たちに集ってもらい、その会議の場で沼田まつりがどんな状況になっているかを説明したうえで、それに

対し意見があるか、参加者から伺った方がいいと思う。

○意見交換のための会議はまつり前にやるべきだと思う。

○会議内で本音を言わない人もいると思うが、言わなかったのだから、それはもう仕方ないことだと思う。率直に意見をもらう会議にすればよいと思う。

○実行委員会の本会議のように 200 人も来られたら議論の收拾がつかなくなるので、部会の代表者 1 名ないし 2 名に参加していただきたい。話ができる人数だとすると 30 人くらいが限界だと思うし、全員の顔を見てちゃんと話ができるので、これくらいがよいと思う。

○課題共有し、このままでは従前開催ができない認識を持ったうえで、解決に向かって議論できればと思う。

○5 月 22 日に実行委員会がある。そこで、今年の開催に向けた議題を終わらせて、1 週間ぐらい後の別日で検討委員会の意見交換会を行うのがよいと思う。

○両方の意見が聞ける会議であればと思う。それぞれ団体によって意見もあるわけなので、その両方の意見を聞く会として。